

「子どもたちが困難を乗り越えて生きていくための力の育成～『不登校』に焦点を当てて～」 に関連する現在の取組（知事部局）

(1) 困難を抱える子ども・若者の総合的な支援【環境生活部 県民生活・文化課】

① 千葉県子ども・若者支援協議会

社会生活を営む上で、困難を抱える子ども・若者に対する支援を効果的かつ円滑に実施するための情報交換・協力体制の構築を目的とし、平成24年1月に設置。

教育・福祉・雇用などの36機関・団体（県関係課、県支援機関、国機関、民間団体）で構成されている。

【これまでの実績】

- ・「セレクトシステム（困難を抱える子ども・若者の相談支援機関ガイドブック）」の作成（H27年度）
ニート・ひきこもり・不登校など困難を抱える子ども・若者の相談・支援先を子ども・若者の状態に合わせ速やかに探せる関係機関担当者向けガイドブックを作成し、関係機関に配布。
- ・「困難を抱える子ども・若者の居場所調査」の実施（H28年度）
県内5か所の困難を抱える子ども居場所の現地視察を行い、現状や課題を把握し、関係機関で共有した。
- ・人材育成研修の実施（毎年）
臨床心理士等による講演や協議会構成機関等による取り組み発表等を行い、子ども・若者に適切に対応できる人材の育成を行っている。

② 千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」



ニート・ひきこもり・不登校をはじめとする子ども・若者の様々な悩みを専門の相談員が聞き、相談内容に応じて適切な支援機関の紹介等を行っている。

どこに相談していいかわからない子ども・若者やその家族が、まず最初に相談できる窓口として、平成24年7月に設置。

- ・電話相談：火曜日から日曜日までの午前10時から午後5時まで
- ・面接相談：週4日（予約制） ※H29.4～
- ・保護者向け勉強会、関係機関向け勉強会を実施 ※H29.4～

【H28年度実績】

○相談者数（主訴数） 延べ733人（件）

（保護者：249人 本人：442人 その他：42人）

○主な相談内容【主訴】

- ①仕事の問題：114件(15.6%) ②家族関係：110件(15.0%)
- ③心の悩み：80件(10.9%)
- ④病気・障害・症状の悩み：73件(10.0%)
- ⑤人間関係：59件(8.0%) ⑥ひきこもり：35件(4.8%)
- ⑦不登校：32件(4.4%) ⑧金銭問題：28件(3.8%) ほか

(2) スクールカウンセラー配置校（私立学校）への支援【総務部 学事課】

○ 私立学校経常費補助（特別補助）

臨床心理士の資格を有する者又は国等が主催する生徒指導及び教育相談に関する専門的な研修を修了した者等を、専ら児童生徒へのカウンセリングを担当する教職員として配置している学校に経費の補助を行っている。

【H28年度実績】

私立学校 51校（小学校3 中学校14 高等学校34）に対して30,600千円を補助
（1校あたり単価600,000円）

(3) 若年無業者（ニート）等の就労支援【商工労働部 雇用労働課】

○ 地域若者サポートステーション事業（厚生労働省委託実施事業 全国173箇所）

仕事についておらず、家事も通学もしていない者のうち、職業に向けた取組への意欲が認められ、ハローワークにおいても就職を目標にし得ると判断した者及びその家族を対象に、個別相談、心理カウンセリング、職業的自立支援プログラムなどを行っている。



【H28年度実績】

県内8箇所（県事業は「ちば地域若者サポートステーション」）

	新規登録者数	相談件数	進路決定者
ちば地域若者サポステーション	273	1,175	132
いちかわ・うらやす若者サポステーション	166	1,483	96
かしわ地域若者サポステーション	168	2,213	111
まつど地域若者サポステーション	151	2,100	100
ちば北総地域若者サポステーション	105	1,970	53
ちば南部地域若者サポステーション	84	2,099	53
ふなばし地域若者サポステーション	293	3,213	127
ちば南東部地域若者サポステーション	223	4,020	150
合計	1,463	18,273	822